

平成30年度(2018年度)

管理事業名	保健事業			総合計画の体系	第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり 第6節 健康な暮らしを支えるまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 3 予防接種費
部局名	健康医療部	予算執行所属	保健センター		
予算大事業名	健康被害調査委員会事業、予防接種事業、予防接種健康被害補償事業、風しん予防接種促進事業、造血細胞移植後定期予防接種ワクチン再接種費用補助事業 上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)結核予防費 結核検診事業 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健センター費 南千里分館管理事業 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健事業費 検診事業 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)母子保健事業費 母子健診事業 ほか				
<b>事業の目的と概要</b> 【目的】 市民の健康の保持増進のため、①予防接種、②結核検診等、③妊婦健診等、④母子保健の訪問指導や講座・教室等の事業を実施。 【概要】 ・予防接種事業(予防接種法等に基づき、公衆衛生の向上及び増進を図るため、伝染のおそれのあるA類疾病であるジフテリア、破傷風等やB類疾病であるインフルエンザ、高齢者肺炎球菌などの予防接種に関すること) ・検診事業(健康増進法等に基づき、市民(成人)の健康の保持・増進を図るため、結核検診やがん検診をはじめ、各種の検診事業や健康相談・健康教室を実施) ・母子健診事業(母子保健法等に基づき、母子の健康の保持・増進を図るため、妊婦健診や乳幼児健診をはじめ、新生児等の訪問、両親教室等を実施) ・南千里分館管理事業(北部地域を中心とした訪問活動や各種検(健)診事業の拠点となる保健センター南千里分館の施設管理に関すること) ほか					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
①定期予防接種の接種件数	件	129,635	127,624	129,518	A類及びB類疾病に対する予防接種の実施件数
②結核検診等の受診件数	件	182,424	181,851	175,192	結核、がん、30歳代、成人歯科等の各種検(健)診の受診件数
③妊婦健診等の受診件数	件	75,035	73,665	74,759	妊婦、4か月児、1歳6か月児、妊婦歯科等の各種健診の受診件数
④訪問指導・教室等参加件数	件	39,060	42,438	35,345	妊産婦、新生児等の訪問及び、両親教室等の各種事業の延件数
		426,154	425,578	414,814	

①各種の予防接種については、感染症から市民を守るうえでも重要な事業であるため、身近なかかりつけ医等で接種できる個別接種方式により市民が接種しやすいよう実施しました。  
 ②結核検診等の各種の検診については、市民の健康の保持・増進を図るため、市民が受診しやすいよう、身近なかかりつけ医で受診する個別検診と、胃がん検診等の一部の検診を保健センター等で行う集団検診方式により実施しました。  
 ③妊婦健診等の各種の健診については、市民の健康の保持・増進を図るため、市民が受診しやすいよう、身近なかかりつけ医で受診する個別健診と、1歳6か月児健診等の一部の健診を保健センター等で行う集団健診方式により実施しました。  
 ④保健センター及び千里ニュータウンプラザの南千里分館を拠点に、乳幼児健診及び離乳食講習会など各種の講座、教室を各種事業を市民が容易に利用できるように実施しました。

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	27,175	32,562	40,194	7,632
府支出金(経常費用充当)	33,827	35,526	38,994	3,468
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	26,563	65,324	56,532	△8,792
経常収入 小計(a)	87,565	133,412	135,720	2,308
給与関係費	392,399	430,867	420,027	△10,840
物件費	1,949,646	1,909,064	1,886,408	△22,657
維持補修費	21	35	112	77
社会保障扶助費	21,176	24,887	22,342	△2,545
負担金・補助金・交付金等	104,959	149,840	167,114	17,274
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	4,250	4,250	4,250	-
徴収不能引当金繰入額	1	-	13	13
賞与引当金繰入額	27,932	33,427	32,588	△840
退職手当引当金繰入額	37,706	79,591	9,065	△70,526
支払利息	8,480	7,941	7,403	△538
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	2,546,568	2,639,902	2,549,320	△90,582
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△2,459,003	△2,506,490	△2,413,600	92,890
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	0	-	△0
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	0	-	△0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	△0	-	0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△2,459,003	△2,506,490	△2,413,600	92,890
一般財源充当額	2,477,276	2,475,246	2,463,264	△11,982
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	18,273	△31,244	49,664	80,908

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	主に検診事業において、受診者数の減少により、委託料が減少しました。 委託料 21,535千円の減
社会保障扶助費	主に未熟児養育医療給付事業において、給付費の減少により、扶助費が減少しました。 扶助費 2,545千円の減
負担金・補助金・交付金等	主に予防接種事業において、吹田市で予防接種を接種する他市民の増加、及び他市定期予防接種者に対する補助要件緩和により、負担金及び補助金が増加しました。負担金 6,334千円の増 補助金 4,456千円の増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	82,371	138,465	135,755	△2,709
行政サービス活動支出	2,532,549	2,586,612	2,572,155	△14,457
行政サービス活動収支差額	△2,450,178	△2,448,148	△2,436,399	11,748
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	234	234
財務活動支出	27,099	27,099	27,099	-
財務活動収支差額	△27,099	△27,099	△26,865	234
収支差額 合計	△2,477,276	△2,475,246	△2,463,264	11,982
一般財源充当額	2,477,276	2,475,246	2,463,264	△11,982
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特長的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出) 予防接種業務委託料846,941千円など (財務活動支出) 千里ニュータウンプラザ建設に係る返済債務 27,099千円(保健センター南千里分館分)
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
1件あたりのコスト	平成28年度	426,154 件	5,976 円	物件費等の減少により、予防接種、各種(検)健診等の受診等に係る1件あたりのコストが57円減少しました。
	平成29年度	425,578 件	6,203 円	
	平成30年度	414,814 件	6,146 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	60,526	59,687	△840
未収金	73	37	△36	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	33,427	32,588	△840
徴収不能引当金	△5	△17	△12	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	157,362	153,806	△3,556	<b>その他流動負債</b>	<b>27,099</b>	<b>27,099</b>	<b>-</b>
土地	-	-	-	固定負債	715,221	662,098	△53,122
<b>建物・工作物</b>	<b>157,362</b>	<b>153,806</b>	<b>△3,556</b>	地方債	-	234	234
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	362,937	336,680	△26,257
無形固定資産	76	76	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	<b>その他固定負債</b>	<b>352,284</b>	<b>325,185</b>	<b>△27,099</b>
土地	-	-	-	負債の部合計	775,747	721,785	△53,962
建物・工作物	-	-	-	純資産	△411,828	△362,164	49,664
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	6,413	5,720	△693	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	200,000	200,000	-
投資その他の資産	200,000	200,000	-	出資金	200,000	200,000	-
出資金	200,000	200,000	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	363,918	359,621	△4,298
資産の部合計	363,918	359,621	△4,298	負債及び純資産の部合計	363,918	359,621	△4,298

Ⅲ 財務構造分析

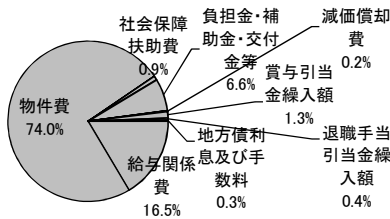
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	50.65 人	2 人	3,272 日	23 人	461,680
給与関係費等	422,615 千円	3,042 千円	35,947 千円	76 千円	
内、時間外勤務手当	16,163 千円				

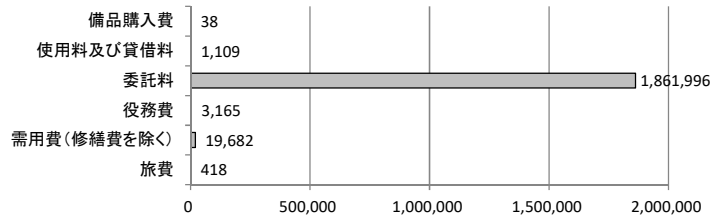
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	千里ニュータウンプラザ減価償却による3,556千円の減(保健センター南千里分館分)
その他固定負債	千里ニュータウンプラザ建設に係る返済債務 27,099千円(保健センター南千里分館分)

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		0.1	7.5	46.5	39.0
一般財源充当比率		96.8	94.7	94.8	0.1

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

- ・多種の検(健)診業務を委託しているため、コストの74.0%は物件費となっています。
- ・市民が検(健)診を受診しやすいよう、個別検診と集団検診を織り交ぜながら事業を実施しておりますが、がん検診等の受診者数の減少等により、平成30年度の物件費は1,886,408千円となり、平成29年度の1,909,064千円と比べて22,657千円減少しました。
- ・事業の財源は、約96.6%一般財源ですが、特定財源には、母子保健事業費補助金や予防接種負担金などがあります。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業は、市民の健康の保持・増進を目的として、各種検(健)診事業等を実施しておりますが、予防接種では、複数の任意予防接種が法定化される可能性があり、委託料の増加が見込まれます。  
また、各種検(健)診の委託料についても診療報酬の改定や物価の上昇により委託料の増加が想定されます。  
母子保健事業においては、社会的に少子化傾向にある中、子どもを産み、育てやすいまちにしたいために、現行事業を継続し、さらに充実させていくことが必要です。  
今後、経費の増が見込まれるものの、市民の健康寿命の延伸を図るためには、予防接種や各種の検(健)診等の健康施策を継続させ、さらに充実させる取り組みが必要と考えています。